

2022年8月9日
株式会社レンタルのニッケン

次世代高所作業車「建トウン6m」を開発 ～荷台のハーフスライド機能追加により作業効率が向上～

株式会社レンタルのニッケン（本社：東京都千代田区、社長：南岡正剛）は、この度、建設現場での高所作業における生産性向上を目的として、次世代高所作業車「建トウン6m」を開発致しました。

I. 背景・経緯

通常、高所作業車を移動させる際、安全の為、荷台を上げたままの作業が禁止されております。段差や障害物の状況が、日々変化する現場内では、その都度、荷台の上げ下げをする必要があり、非常に非効率でした。これらの手間と時間を省略し、作業の効率化が求められ開発されたのが、次世代高所作業車「建トウン4.5m」です。しかしながら4.5mでは届かない箇所や、耐火被覆吹付等、広範囲にわたる作業では荷台の広さが重要な為、今回、作業床高6.1m、荷台のハーフスライド機能を追加した「建トウン6m」が誕生致しました。4.5mはオフィスビルでの用途が多く、新型の6mは工場や大型の物流倉庫、ショッピングセンター等での需要が見込まれます。

II. 特長：テーブルリフト 6.1m 建トウン

テーブルリフト 6.1m 建トウンは、作業床上昇時（最大6.1m）の走行が可能なテーブルリフトです。

1. 作業床上昇時は、安全の為、作動性能が制限され、安全に荷台を上げたまま走行可能。
2. ±25mmの段差の検知、前後の障害物検知センサーに加え、作業員の挟まれ防止策として、上部障害物を探知するリミットスイッチ（4ヶ所）で接触を検知。
※高さは6段階まで調節可能となっており、最大で作業床から2000mmの高さまで調節可能。
3. センサーが危険を検知すると、動作停止・警報鳴動し、衝突や転倒を回避する安全機能充実。
4. 既存の4.5m式からの大きな変更点は、荷台のハーフスライド化。
荷台がスライドすることにより作業範囲が広がり、更なる生産性の向上が見込める。



写真手前6m、写真奥4.5m型と比較



新機能の荷台のハーフスライド



- 写真左 (左上) : 段差衝突感知センサー
- 写真左 (左下) : 上部リミットスイッチ (4ヶ所)
- 写真右 : 段差検知の様子

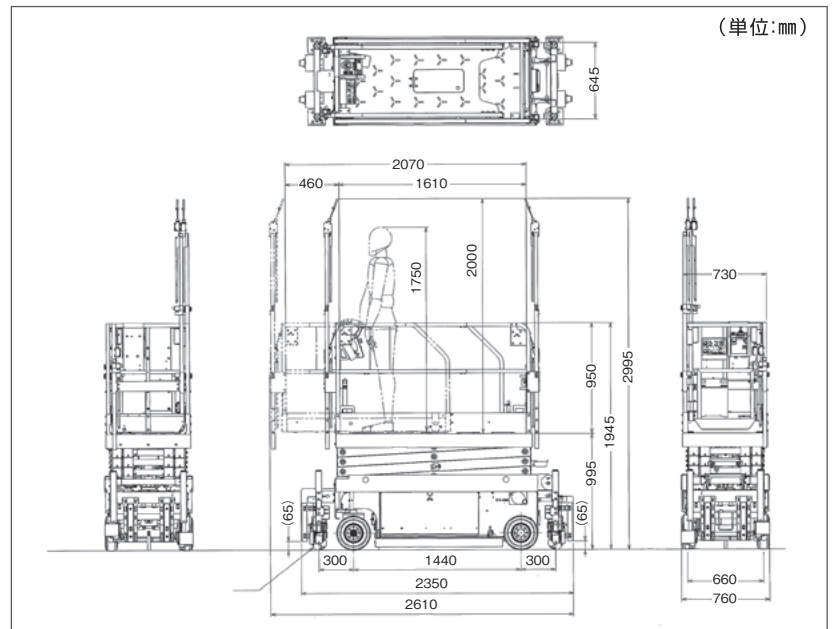


■建トウンロゴの意味：
上昇したまま移動ができる筋斗雲をイメージしました

■主要諸元

商品コード	X61UX	
全 長	2350mm	
全 幅	760mm	
全 高	1945mm	
軸 距	1440mm	
輪 距	660mm	
車両重量	1340kg	
作業床 内寸法	格納時	W645×D1610×H950mm
	拡張時	W645×D2070×H950mm
充電器 仕様	入力電圧	単相AC100V・200V(但し、電源ケーブルの交換必要)
	入力周波数	50または60Hz
	公称出力	DC24V / 13A以下
タイヤ	298×101mm(ソリッドタイヤ・グレー)	
バッテリー 仕様	種 類	BPC12-120密閉型鉛蓄電池×2個
	容 量	105Ah(5時間率)
	電 圧	24V

■外形図



レンタルのニッケングループは、今後も「お客様の困った」に耳を傾け、安全施工・作業の効率化を推進してまいります。

本件に関するお問い合わせ先

◆報道関連のお問い合わせ先

株式会社レンタルのニッケン 広報チーム 03-5512-6384

◆その他のお問い合わせ先

株式会社レンタルのニッケン 技術開発部 03-5512-7582